

## 多様性・持続可能性と考古学

## 第4回 多様性・持続可能性と考古学

日時 2014年10月26日

場所 東京国立博物館 平成館小講堂

1. 羽生淳子（カリフォルニア大学バークレー校／総合地球環境学研究所）「食の多様性と文化の盛衰」
2. 松本直子（岡山大学）「ジェンダー教育と考古学」
3. 対話「多様性・持続可能性と考古学」

セミナーシリーズ第4回のゲストスピーカーのうち、羽生淳子氏については、アートルがカリフォルニア大学バークレー校で博士号を取得していること、今回の対話の冒頭にあるように羽生氏がその審査の副査であった縁が大きい。当時羽生氏は総合地球環境学研究所（略称：地球研）にて自身のプロジェクトを主導するため京都に長期滞在中で、その間にゲストスピーカーとしての参加を実現させたいと考えていた。テーマ自体は地球研で羽生プロジェクトが取り組んでいる食の多様性と、このセミナーシリーズのテーマのひとつである日本考古学の多様性の重複から、「多様性」というキーワードは比較的すぐに決まったと記憶している。もう一人のゲストスピーカー松本直子氏は羽生氏の推薦である。第3回までのスピーカーで女性は安芸氏のみで、女性考古学者はいなかった。第5回以降もスピーカーは男性のみであることを考えると、このセミナーシリーズはこの第4回で、わずかだがジェンダーバランスをとっていることになる。

第4回は金沢ではなく、東京で開催した。前日に英国のセインズベリー日本藝術研究所の企画による講演会が東京国立博物館で開催されており、それに羽生・松本両氏も参加するとのことでスケジュール調整がついたというのが大きな理由のひとつである。東京で開催し、しかも前日には考古学関係のイベントがあるので、集客も金沢で開催するよりも多いことを見込んでいたのだが、残念ながらそうはならず、他の回の平均と同じく20人強といったところであった。このセミナーシリーズであつかう問題を語る場を形成することの難しさを感じた次第である。

広報チラシは羽生・松本両氏から提供いただいた写真やイラストを円形にくり抜き、カラフルな丸と合わせて配置した。それらの色は多様性重視の象徴としてのレインボーフラッグに由来している。

文化資源学セミナー Seminar on Cultural Resource Studies  
主催：金沢大学人間社会科学研究科 国際文化資源学研究センター  
共催：金沢大学人間社会環境研究科 文化資源マニージャ 養成プログラム  
『考古学と現代社会』第4回 Archaeology and Contemporary Society 4

多様性・持続可能性と考古学 Diversity, Sustainability, and Archaeology

1 羽生 淳子 HASEGAWA Junko  
カリフォルニア大学バークレー校／総合地球環境学研究所  
食の多様性と文化の盛衰  
Food Diversity and the Growth and Decline of Human Cultures

2 松本 直子 MATSUMOTO Naoko  
岡山大学  
ジェンダー教育と考古学  
Gender Education and Archaeology

3 対話：多様性・持続可能性と考古学  
司会：ジョン・アートル、菅野 善孝 John ERTL and YOSHIDA Yasuyuki  
国際文化資源学研究センター  
考古学者 × 人類学者 × 参加者  
Dialogue: Diversity, Sustainability and Archaeology  
Archaeologists × Anthropologists × Participants

2014  
10 / 26  
(日)  
13:15 ~ 16:45

講演会を通じた持続可能な社会を実現するために、生物多様性の多様性がもたらされることも、従来の経済成長モデルからはなかなか見えない。「食は生命、文化は魂」というジェンダー観は現代になくてはならないものがある。ジェンダーの多様性は重要視された。国際的なジェンダー観の普及は続いていく。最新の文化変化と食文化をテーマに、これらの問題を取り組むゲストスピーカー 菅野 善孝、多様性・持続可能性の視点から対話する。そしてその両者の関係性も再考する。

※講演は日本語です。Official Language is Japanese.  
※本セミナーは国際的な参加を歓迎します。国際的な参加者も歓迎します。  
※本セミナーは、2014年10月26日(日)開催予定です。  
※本セミナーの開催される場所は、別途案内、ウェブサイトからご確認をお願いします。

国際文化資源学研究センター 国際文化資源学研究センター  
〒920-8601 石川県金沢市片岡2-1-1 10号館3F  
TEL 011-264-5822 E-MAIL yoshida@ipc.kanazawa-u.ac.jp